

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	膵管内乳頭状粘液性腫瘍（IPMN）関連膵癌における生物学的な再発・予後予測に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2005年1月1日から2023年12月31日までの間に新潟大学医歯学総合病院消化器外科でIPMN関連膵癌に対し外科的切除を受けられた18歳以上の患者さん。 《研究責任者》新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野 教授 若井 俊文	
③概要	
新潟大学医歯学総合病院消化器外科で IPMN 関連膵癌に対し外科的切除術を受けられた患者さんの臨床情報を用いた観察研究を行い、IPMN 関連膵癌術後の再発を予測する因子を解析し、IPMN 関連膵癌に対するより適切な治療・経過観察指針を確立することを目的とします。本研究は新潟大学長の承認を得ています。	
④申請番号	2025-0331
⑤研究の目的・意義	本研究の目的は、IPMN 関連膵癌に対して外科的治療を受けられた患者さんの治療結果を振り返って検証し、IPMN 関連膵癌術後の再発を予測する因子を解析し、治療成績の改善と経過観察指針の確立を目指すことです。本研究は新潟大学を総括施設とし、国内・国外の多施設共同で研究を行います。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2028 年 12 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	診療過程で発生した臨床情報を研究に使用します。研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。研究に使用する情報は5年間当院及びにて厳重に保管させていただきます。
⑧利用または提供する情報の項目	臨床所見（年齢、性別、身長、体重、診断名、血液検査結果、治療内容、再発時期、再発部位、死亡時期、死亡原因、生存期間）、画像所見、病理所見など
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大大学院 消化器・一般外科学分野 若井俊文 公益財団法人がん研究会有明病院 肝胆膵外科 高橋 祐 新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科 野村達也 新潟市民病院 消化器外科 佐藤大輔 新潟県立中央病院 外科 青野高志 長岡赤十字病院 消化器外科 皆川昌広

	<p>厚生連長岡中央総合病院 外科 北見智恵 新潟県立新発田病院 外科 塚原明弘 University of Padova 外科 Giovanni Marchegiani</p>
<p>㊤試料・情報の管理について責任を有する者</p>	<p>新潟大大学院 消化器・一般外科学分野 若井俊文</p>
<p>㊤お問い合わせ先</p>	<p>研究責任者：若井俊文 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野 〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757 025-227-2228 Email: wakait@med.niigata-u.ac.jp</p>